



入社1年目
VOICE



データを使って機器の状態予測に取り組む
先行的技術で新ビジネスにつなぐのが目標

東京事業所 AI・アナリティクス部
データアナリティクス課 田中涼太 氏
大学では情報科学を専攻し、AIの研究をしていたので、それが生かせること、会社説明会では先輩社員との話が弾み、会社の雰囲気も合いそうだったことから入社を決めました。現在は機器の状態予測について、電動バイクを用いたデータを使ってモデルを作っています。データ分析は事業化後まだ新しい分野で様々な技術があるので、先行的な技術に取り組んで、新たなビジネスにつなげていきたいですね。



各部署の中間にあるフリースペースは、休憩だけでなく、部署をまたいだ社員同士の打ち合わせの場としても広く活用されている。また、社員の交流の場となり、社内の風通しの良さを感じさせるスペースになっている。

RECRUIT DATA
(2018年4月度実績)

募集職種 SE職、企画総合職

給与・賞与 4年制大学卒：20万7000円
大学院卒：21万5000円
賞与：年2回 昇給：年1回

諸手当 通勤手当、残業手当、住宅手当、家族手当、資格手当、待機手当

休日休暇 完全週休2日制(土・日)、祝日、メーデー、夏季休暇、年末年始(年間休日123日)、有給休暇(初年度14日、最高20日)、失効年休積立、リフレッシュ休暇、慶弔休暇

勤務地 東京、大阪、福岡

勤務時間 9:00~17:30(実働7時間45分)
※フルフレックス・在宅勤務制度利用可能

福利厚生 社会保険完備、前払退職金、社宅制度、パナソニックグループ関係会社共済共済

企業情報 ▶

CAREERADVISERの視点

「ものをつくる前に人をつくる」という考え

創業間もないベンチャー企業の時代から今日まで、社員こそ最大の財産であるという考えが続く同社。フルフレックスタイム制度をはじめ、在宅勤務、遠隔ミーティング、フリーアドレス、育児短時間勤務など、働く人にも寄り添いながら働きやすい環境・仕組みづくりに注力しています。

「パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社」 Panasonic

グループで得た知見を基にAI分野に注力
事業の大黒柱への成長を目指す

業界の知見を身に付けた
高度なAI技術者を
目指してほしい

AI・アナリティクス部
データアナリティクス課
課長 橋本裕一朗 氏



職場には固定席とフリーアドレスが共存する

ス部データアナリティクス課 課長・橋本裕一朗氏
従来はこうした類業務は担当者の感覚や経験知に頼る部分があり、判断がぶれるリスクがあった。それに対してAIを導入することで、判断基準が一定になり、エラーを発生する効率も上がる。これは、最近問題になっている熟練労働者不足の対策にもなる。

「AI・アナリティクス部門は、実績を出しつつあり、手応えを感じています。常に一貫した良品・不良品の判断基準が守れるAIによる外観検査は、今後の成長が非常に期待できる分野だと思います。」(橋本氏)

「この分野において他社との違いを打ち出すポイントは、提
新しいことに意欲的な学生の入社を望む

供先の各業界それぞれの知見をどれだけ持っているかという点です。それが当社の強みです」と橋本氏は説明する。

例えば、機械の異常予測、故障予測をAIで行う場合、どの工程で異常が発生しやすいか、それが起こる背景を理解しておく必要がある。業界の深い知見がないと、いくら優れたAIを導入しても、効果が上がらない可能性もあるのだ。

AI・アナリティクス部門の社員は、パナソニックグループで、「ものづくり」の現場を体験しているケースが少なくない。顧客が使用している機械や設備に関する知識も豊富だ。

データから問題を読み取るだけでなく、不具合が生じる可能性を予測したり、改善を提案したりすることもできる。これにより、データ解析に特化した企

業との違いを生んでいる。活躍するAI技術者になる基
本は、統計やAIの知識をしっかりと持ち、かつAIが重要なこと。その上、数カ月単位で新しい技術が次々と出現する分野であるため、常に知識を更新する必要がある。

「新しく出てきた技術や事柄に興味を持ち続け、すぐに自分から試してみることが苦にならない人物でないとならないです。そんな意欲のある人材に入社してほしいです。そして、いかに顧客の役に立っているかを感じ取ること、最終的にしっかりとした形で提供できること、顧客が気付いていない課題を指摘し、解決していくことという、AI・アナリティクス部門全体の仕事に対するポリシーに共感して、活躍してほしいと思います。」(橋本氏)

伸びしろが大きくそんなAIによる外観検査

パナソニックソリューションテクノロジーは、メイソフレイムと呼ばれる大型コンピュータの関連業務から事業をスタートした。その後、ソフト開発、eラーニング、クラウド、ビッグデータなど、時代に応じて業務を拡大してきた。

現在は、AI(人工知能)、アナリティクス(データ分析)部門、IoT(モノのインターネット)部門、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)部門、ICT(情報通信技術)部門の4つのソリューションを核にビジネスを展開している。AI・アナリティクス部門は2017年にスタートした若い事業部門だが、今後の大きな成

長性を見込み、会社を支える大黒柱に育てていく方針だ。同部門の業務は、大きく分けると3つある。1つ目はビッグデータ活用法の提案。膨大なデータを所有していても、どう使っていくか分からないという企業は多い。それに対して、ビッグデータの可視化と活用方法を提案する。2つ目は可視化したビッグデータから何が分かるかを分析、提案する業務だ。そして、3つ目がAI関連の業務である。

「当社は、AIを用いた画像分析の活用に注力しています。つまり、認識した画像を基に、人工知能に判断の一部を任せるシステムです。例えば製品の表面についてしまった傷や汚れ、型崩れなどの外観検査にピッタリです。」(AI・アナリティク

ABOUT COMPANY

本社所在地	東京都港区東新橋2-12-7 住友東新橋ビル2号館
沿革	1988年 「松下コンピュータシステム」設立 2003年 「パナソニックソリューションテクノロジー」に社名変更 2014年 クラウド事業開始 2017年 AI・アナリティクス事業開始
資本金	1億円
従業員数	502人 (2018年10月現在)
URL	https://panasonic.com/jp/pstc/